

■学生FDイベントに参加しました

日時：2011年8月27日(土)～28日(日)(学生FDサミット2011夏)、9月10日(土)～11日(日)(i*See 2011)

8月27～28日に立命館大学衣笠キャンパスで「学生FDサミット2011夏」、9月10～11日に岡山大学で「i*See 2011」と、FD活動に携わる全国の大学の学生・教職員が集まり、取り組み紹介や意見交換を行うイベントが開かれ、LAの有志が参加しました。

LAは、他大学の様々な特色や取り組みを知り、同じような立場の知己を得ました。加えて、初顔合わせのメンバーとのグループワークでファシリテーターを務め、大人数の前で発表をするなど、LA活動で培った実力を遺憾なく発揮しました。以下、参加したLAの声を紹介します。

「勝ちに行こう！」

政策創造学部3回生 片山曜啓 (FDサミットに参加)

グループワークでコーディネーターを、発表の際にプレゼンターを務めたのが良い経験になりました。私のグループでは「どんな授業が良い授業?」をテーマで、クリティカルシンキングを身につける「つっこみ学入門!!」という授業を考え、15回の授業のシラバスを作り発表しました。同じグループになった他大学生の「勝ちに行こう!」の言葉で、リハーサルを繰り返し、予選を勝ち抜き、300人弱の前に全体発表をしました。全体発表では、100人程度だった予選よりも聴衆の反応が冷たく緊張しました。聴き手のうなずきやアイコンタクトが発表者を楽にすることを実感しました。全体発表では違うグループ



立命館大学「学生FDサミット」で発表するLA

にいたLAも登壇し、初参加ながら自分たちはよく頑張ったと思いました。他大学の人達と関わる機会は滅多にない事なので、他のLAにも外部の活動に参加することの重要性を伝えたいです。

「LAスキルが役立つ」

文学部2回生 竹村祐哉 (i*Seeに参加)

一番の思い出は他大学の学生や教職員の方と真剣に話ができただけです。他大学の活動を知って考えの幅が広がったし、また自分の考えを相手に伝え、分かってもらい難しさも知りました。グループディスカッションでは、司会役が困ったときは助言をしたり、板書をしたりするなど、LAとして培ったスキルを少しでも発揮できたことはとても嬉しかったです。i*Seeへの参加を通じて他大学の良いところ、課題を知り、また関大のLAの素晴らしさ、課題も発見しました。やはりいろいろな大学の人と話すことが大切だと改めて実感しました。



岡山大学「i*See」に参加したLA

■学内活動

[LA 合宿研修]

日時：2011年10月9日(日)～10日(月)

10月9～10日に高槻キャンパス高岳館でLA合宿を開催し、23人のLAが参加しました。合宿のために数名のLAが運営委員会を作り、「ディスカッションスキルを身につける」というテーマを掲げ、2か月に渡って準備を行いました。全てのワークをLAが作り、講師もLAが務めました。ディスカッションスキルには、司会、書記、聴き手、発言者などLAにとって重要な役割が凝縮されており、真剣に取り組む企画者・参加者双方から自己研鑽に努める意識の高さが垣間見えました。参加したLAからは「新しく入ったLA



グループワークに取り組むLA

との関係づくりの場として、またLAのスキルアップや自信につながり、有意義な合宿となった」との声が聞かれました。今後もLAの持つ知恵や工夫の共有、交流促進のための研修・合宿を続けていきたいと考えています。

[学園祭での情報交換会「スタディスキルを身につける(学祭で語る)」]

日時：2011年11月5日(土)13:00～16:00
11月6日(日)11:00～13:00

関西大学統一学園祭の研究発表で、LAの活動内容の展示と、授業支援SA・科目提案学生委員との情報交換会を行いました。授業支援SA、科目提案学生委員も授業改善に携わる学生スタッフですが、これまでLAを含めて互いに交流の機会がありませんでした。情報交換会では、互いの活動を紹介し合い、学生の視点から授業改善について意見交換することを目的としました。初の試みであり、自己紹介・活動紹介では緊張感が見えたものの、時が進むにつれ、学生にできる改善案や大学に望む事などが議論されました。今後も同様のイベントの開催や、合同で学外の学生FDイベントに参加するなど、連携を模索していきたいと考えています。

(研究員 今岡義明)